

令和5年度 本市の全国学力・学習状況調査結果

1 調査の概要

本調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学習指導の改善を図る目的で、平成19年度から実施されています。全国の小学6年生と中学3年生が対象で、今年度は令和5年4月18日（火）に実施されました。

2 調査の内容

調査内容は、小学校が国語と算数、中学校は国語と数学に加え、英語が実施され、学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題が出題されました。また、調査する学年の児童生徒を対象とした学習習慣や生活習慣等に関する児童生徒質問紙調査と、各学校の校長が回答する教育環境等に関する学校質問紙調査が実施されました。

3 秋田県と全国の比較（今年度も、県の平均正答率は整数値で発表されています）

〈小学6年 平均正答率(%)〉

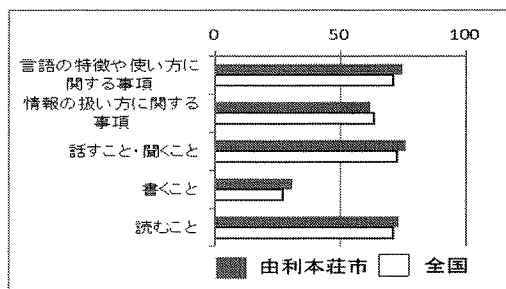
	国語	算数
秋田県	72	65
全国	67.2	62.5

〈中学3年 平均正答率(%)〉

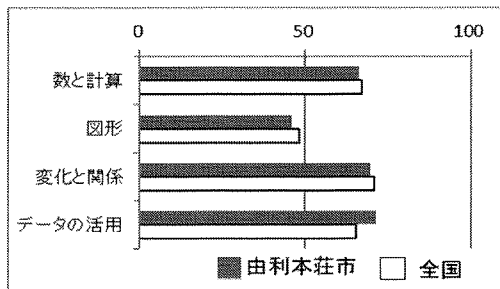
	国語	数学	英語
秋田県	74	52	44
全国	69.8	51.0	45.6

4 本市の結果について（授業改善に生かすため、領域ごとにグラフでの比較としています）

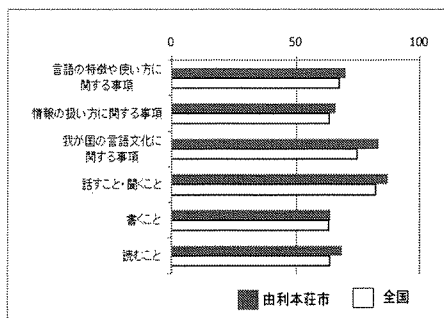
〈小学校国語〉



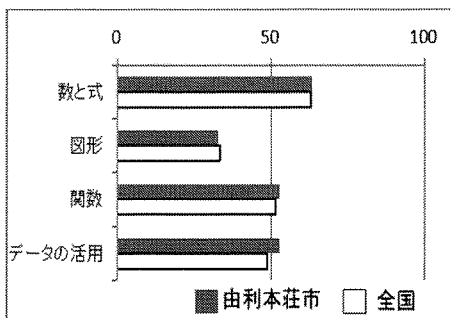
〈小学校算数〉



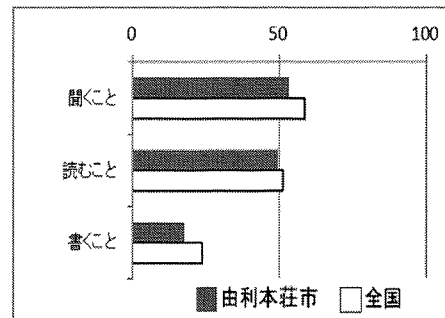
〈中学校国語〉



〈中学校数学〉



〈中学校英語〉



質問紙調査からは、小学校・中学校とも、将来の夢や目標をもち、自分自身を肯定的に捉えながら、学校に前向きに通っている児童生徒の割合が年々増加していることが分かりました。各学校における授業実践や先生方の関わり方が児童生徒によりよく反映されていること、保護者が温かく我が子に接していることが分かる結果となりました。その一方で、1日あたりの学習時間は減少傾向にあります。放課後や家庭における有益な時間の使い方について、さらに改善していく必要があると思われまます。